

五町合併で市制施行を



内之倉成功議員

内之倉成功議員 市制実現のため、祁答院町民との意思確認を行ってきたが、入来・祁答院町議会は五町合併についてを否決し、残念でならない。両町の住民は、住民発議による五町合併を目指して努力されているが、町長は、どのような対策を考えているのか。

北村町長 これまで一貫して、五町合併が理想としてきたが、入来町・祁答院町の議会では否決された。しかし、川薩地区合併への議会議決が、なされるまでは諦めず、両町民の住民発議が残され

ているので、議会とも一緒にしながら、努力していきたい。また、入来町・祁答院町が川薩地区への合併を決議することになれば、薩摩東部地区三町で進めてきた法定協に基づいて、進めていきたい。

内之倉議員 国・県の財政悪化で、地方交付税の減額が行われ、自主財源の乏しい町村にとって、合併による解決策しかないとなれば、九、五二八人の五町合併に賛同し署名した町民に対して、財政シミュレーションを示す考えはないか。

町長 地方交付税、補助金等の削減により、単独町では町民へのサービス低下は避けられない。三町による合併協議会を基



議会活動でも、歴史的なつながりが強い祁答院地区5か町

本にして、地方交付税、合併特例債を運用して町民へのサービスを維持していく。

今後の財源不足に どう対処するのか

内之倉議員 限られた財政のなかで、ソフト事業については現状維持だが、農林業・土木事業等のハード部分は削減されている。今後、合併で財源不

足が一層増すと思うが、行政と町民が一体になり、考えていく必要があると思う。町長の考えは。

町長 本年度は、財源確保が難しく、施設の廃止や単独事業の縮小により、ハード事業の減額予算となった。普通建設事業については、合併による電算化事業や給食センター建設費が含まれ、本体予算一六億八、八〇〇万円、前年度より三八割増となった。給食センター建設費を差し引くと九億二千万円となる。今後、財政は一段と厳しくなってくるので、経常的な経費の節減に努力していく。また、市街地活性化事業等については、商工会、事業者とよく話し合っており、祁答院地方の中心の町として、TMO・道路・河川等の事業を国・県一体になって進めていくよう努力する。